

**国際ロータリー２０２３－２０２４年度テーマ**

**「世界に希望を生み出そう」**

**国際ロータリー会長**

**ゴードン R. マッキナリー　氏**

新しいロータリークラブやグループを築くために会員と協力できるのを楽しみにしており、「私のビジョンは、ロータリーの仲間になりたいと思うすべての人、世界でよいことをしたいと願うすべての人が、それぞれに合った方法でどこででも参加できるロータリーとなること」

ロータリー財団は「ロータリーの奉仕を動かす燃料」であるとし、妻ヘザーさん（ロータリアン）と共にポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、ロータリー財団のベネファクター、遺贈友の会会員となっている。

孫娘たちが幸せに暮らせるより良い世界をつくるために、会長として全力を捧げたいと考えている。

**会長イニシアチブ**

**メンタルヘルスの優先**

精神疾患や心の健康は話しづらいトピックだと感じるかもしれませんが、国際社会で人が幸福に生きるには大切なことです。このような問題に取り組むための安全な環境を作ることは、私たちと関わるすべての人を歓迎し、公平で、インクルーシブな環境につながります。

ゴードン氏は、2023-24年度に以下のような活動を行うことをクラブと地区に奨励しています。

・心の健康の話題に伴うスティグマの解消

・メンタルヘルスのニーズに関する認識の向上

・メンタルヘルスの支援や治療へのアクセス改善

・バーチャル交流を通じた平和構築

ロータリーは、人と人とのつながりを生かして平和のために活動してきた長い歴史がありますが、新型コロナの流行により、直接顔を合わせて活動することが困難になっています。コロナ禍を通じて学んだことをヒントに、ゴードン氏は、より多くのプログラム、行事、活動にバーチャルの要素を取り入れることを地区に奨励しています。テクノロジーを活用してつながりを作ることで、より多くの人にロータリーを体験する機会を提供できます。

2023-24年度、ロータリー青少年交換、新世代交換、ロータリー友情交換、その他のプログラムにおいて、これらの要素を追加または維持することには、次のような利点があります。

・会員や参加者が異文化を体験し、新しい友人を作り、国際的な認識を深めるための新しい方法を提供する。

・時間、健康、または経済的な理由で入会が困難な人に、参加への道を開く。

・異文化間のコミュニケーションと理解を深め、より安定した平和な地域社会を実現する。

**女児のエンパワメント**

シェカール・メータ2021-22年度会長が立ち上げ、ジェニファー・ジョーンズ2022-23年度会長が継続した、世界中の女児と女性のエンパワメントに焦点を当てた取り組みを、ゴードン氏も継続します。女児の健康、福祉、教育、経済的安定を向上させる活動を続けることが会員に奨励されています。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　3

　**RI会長　プロフィール**

出　　　身　： 　スコットランド

所属クラブ　：　サウス・クイーンズフェリーロータリークラブ　26歳で入会

経　　　歴　：　ダンディー大学卒業　口腔外科の大学院学位取得。

2016年まで歯科医院を経営。

英国小児歯科学協会のスコットランド東部支部会長ほか、さまざまな教育的役職を歴任。

グレートブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー（RIBI）の会長と副会長

RIの理事と委員会メンバー

2022年ヒューストン国際大会委員会アドバイザー、運営審査委員長

英国を拠点とする非営利団体「ホープ・アンド・ホーム・フォー・チルドレン」の後援者

同団体とRIBIとのパートナーシップを先導して、ルワンダ大虐殺によって孤児となった

子どもたちを支援。

開発途上国の人びとや家族、ビジネスに持続可能な人道支援を提供する

Grantham Kestevenロータリークラブ（英国リンカンシャー）のイニシアチブ

「Trade-Aid」も後援国立の精神保健機関であるBipolar UKのアンバサダー

趣味はラグビー、グルメとワイン、スコットランドの伝統的な杖づくり。

　　　　　　　　　　　　　4